

令和2年度高教研情報部会総会資料

令和元年度事業活動報告

1 役員会

① 役員会 R1.5.8 富山県総合教育センター

2 使用教科書研究協議会、情報部会総会 R1.6.18 富山県総合教育センター

- ① 令和2年度使用教科書研究協議会
- ② 平成30年度 事業活動及び収支決算報告について
- ③ 令和元年度 事業計画及び収支予算案について

3 高教研大会情報部会 R1.11.7 富山県総合教育センター

- ① 研究発表Ⅰ「総合実習の取り組みについて」 滑川高等学校 板川 和則
- 研究発表Ⅱ「プログラミング学習ソフト」の利用 志貴野高等学校 柴田 良人
- ② 報告Ⅰ「全国高等学校情報教育研究大会」 高岡高等学校 多賀 誠志
- 報告Ⅱ「日本情報科教育学会全国大会」 富山高等学校 林 秀治
- ③ 講演「情報Ⅰ・情報Ⅱの実施に向けて」

文科省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 教科調査官 鹿野 利春

4 研究報告

- ① 「情報部会研究紀要第16号」ウェブサイトにて公開 (<http://jyoho.el.tym.ed.jp/>)
- ② 「高等学校教育研究会紀要」に研究発表の内容を掲載

令和元年度収支決算報告

収入の部		支出の部	
部会活動費(9月)	35,000	旅費(高教研大会講師旅費)	29,840
部会活動費(2月)	15,000	旅費(大会参加旅費補助)	20,160
合計	50,000	合計	50,000

会計監査報告

令和元年度富山県高等学校教育研究会情報部会研究調査費会計の
関係書類を精査したところ、正確かつ適正であったことを認めます。

令和2年3月10日

会計監査 竹田 洋一 

会計監査 田原 悦史 

令和2年度情報部会役員一覧（案）

部会長 中崎 圭子（新湊）
副部会長 盛本 茂（富山南） 長島 伸（八尾）
理事 中西 純（大門） 田原 悦史（富山西）
平野 孝（雄山） 池田 康広（南砺平）
監査 杉本 考男（上市） 西川 豊（石動）
事務局 大門高等学校 事務：中西 純 会計：竹田 洋一

令和2年度事業計画（案）

1 研究課題

- ① 効果的な指導法についての研究
- ② 次期学習指導要領についての研究
- ③ 2025年「情報」入試についての研究

2 研究

① 研究発表Ⅰ

—「本校の現状を踏まえた情報科の授業展開」—（富山西高校—田原 悦史—）

② 研究発表Ⅱ

—「新型コロナ感染防止と授業について」—（南砺福野高校—岩本 隆三—）

なお、来年度以降の発表順は、令和3年度は富山西高校、令和4年度は南砺福野高校とし、それ以降の研究発表については来年度の協議事項とする。

③ 全国高等学校情報教育研究大会への参加・視察（—オンライン開催—）

④ 研究紀要の作成（ 大門高校 ）

3 役員会・総会、研究大会

① 5月●日（●）—令和2年度高教研情報部会役員会

—（会場：富山県総合教育センター—●●●研修室—）

② 6月●日（●）—令和3年度使用教科書研究協議会、高教研情報部会総会

—（会場：富山県総合教育センター—●●●研修室—）

③ 10月30日（金）—研究発表大会（会場：富山県総合教育センター—●●●研修室—）

研究発表：富山西高校、南砺福野高校

全国大会等参加報告

講演講師—高橋 純

—（東京学芸大学教育学部・准教授）—

—演題—（—高等学校教育とデジタルトランスフォーメーション—）

2 地区理事、監査、研究発表校の順番について

資料 1 : 平成 19 年度以降の地区理事

年度	新川地区	富山地区	高岡地区	砺波地区
19	桜井	富山いずみ	伏木	南砺福野
20	新川みどり野	富山いずみ	伏木	南砺福野
21	新川みどり野	富山いずみ	高岡南	南砺福光
22	滑川	富山いずみ	高岡南	南砺福光
23	滑川	富山東	志貴野	石動
24	滑川	富山東	志貴野	石動
25	入善	富山東	志貴野	となみ野
26	入善	富山北部	氷見	となみ野
27	泊	富山北部	氷見	砺波
28	泊	富山中部	福岡	砺波
29	魚津	富山中部	福岡	南砺福野
30	魚津	富山	小杉	南砺福野
1	雄山	富山	小杉	南砺平
2	雄山	富山西	大門	南砺平
3	上市	富山西	大門	南砺福光→石動
順番	雄山→上市→滑川→新川みどり野→桜井→入善→泊→魚津	八尾→富山南→水橋→富山いずみ→富山東→富山北部→富山中部→富山→富山西→雄峰→呉羽	高岡西→伏木→高岡南→志貴野→福岡→氷見→小杉→大門→新湊→高岡	砺波→南砺福野→南砺平→南砺福光→石動→となみ野

- ・平成 18 年度の総会、研究大会を経て、上記のように決定。各地区より一校ずつ輪番により選出する。
- ・任期は一年であるが、全員が交代することがないよう、2～3年連続で務めることを認める。
- ・「太字」は事務局担当校。平成 27 年度より、次年度理事予定校が監査を務めることとする。

資料 2 : 平成 16 年度以降の研究発表校（県東部 1 校、県西部 1 校）

年度	新川地区	富山地区	高岡地区	砺波地区
16	魚津	八尾		砺波
17		富山西	小杉	
18		富山		南砺福野
19	泊		△	
20		富山中部		南砺平
21		富山北部	大門	
22	入善			南砺福光
23		富山いずみ	新湊	
24		富山東		石動
25	桜井		高岡	
26		富山南		となみ野
27		呉羽	高岡西	
28	新川みどり野		伏木	
29		雄峰		砺波
30		八尾	高岡南	
1	滑川		志貴野	
2		富山西		南砺福野
3		富山	福岡	
順番	魚津→泊→入善→桜井→新川みどり野→滑川→上市→雄山	八尾→富山西→富山→富山中部→富山北部→富山いずみ→富山東→富山南→水橋→呉羽→雄峰	小杉→大門→新湊→高岡→高岡西→伏木→高岡南→志貴野→福岡→氷見	砺波→南砺福野→南砺平→南砺福光→石動→となみ野
	富山、富山、新川の順		27年度より高岡、高岡、砺波の順	